科目区分	専門教育科目	授業科目名		カリキュラム論 科目コード 23Y212 担当者 本村 弥寿子							担当形態	単独			
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	後期	単位数	2	必修・選択 の別	選択	免許・資格要件	幼稚園教諭必修、	保育士必修			
授業形態	講義	履修条件										科目区分	教育の基礎的]理解に関する科目	
実務の経験を有する教員担当科目		該当				∴小学校の勤務経験がある。この勤務経験を基に保育計画の種類や立案方法を教授し 事案作成の授業を行う。					施行規則に 定める 科目区分等	科目に含める ことが必要な 事項	教育課程の意 ムマネジメン	育課程の意義及び編成の方法(カリキュラ マネジメントを含む。)	

授業の主題	教育課程・全体的な計画を基にして指導計画を作成し、保育内容や指導援助のあり方について学ぶ。		作成した保育指導案は添削後に返却し、学習が不十分な点について確認を行う。場合によっては、 授業時間外に個別の対応を行うこともある。
授業の方法	参考書やプリントを使用した講義に続き、指導計画を作成する演習を行う。	アクティブ・ラーニングの 実施方法	保育指導案作成では、教員が与えた課題に対して自ら参考となる資料を用意し学習する。さらに、 各自作成した指導案をグループ内で見せ合い、ディスカッションを通して学習内容の理解を深め る。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	
第1回	オリエンテーション、カリキュラムについて	「保育内容総論」レジュメに目を通し、保育の 基本や評価についての学びを振り返る。	第9回	保育指導案の作品
第2回	子ども理解に基づく保育の循環	授業後、3法令解説の、授業で触れた内容を読み返し、理解を深めておく。	第10回	保育指導案の作品
第3回	幼稚園の教育課程編成の基本原理と方法	授業後、3法令解説の、授業で触れた内容を読み返し、理解を深めておく。	第11回	保育指導案の作品
第4回	保育所・こども園の全体的な計画作成の基本原理と方法	授業後、3法令解説の、授業で触れた内容を読み返し、理解を深めておく。	第12回	保育指導案の作成
第5回	幼稚園の指導計画の作成	授業後、3法令解説の、授業で触れた内容を読 み返し、理解を深めておく。	第13回	保育指導案の作品
第6回	保育所・認定こども園の指導計画の作成	授業後、3法令解説の、授業で触れた内容を読み返し、理解を深めておく。	第14回	保育指導案の作品
第7回	保育指導案の作成方法①	第5回、第6回の授業内容を復習しておく。	第15回	保育指導案作成に て)
第8回	保育指導案作成方法②(指導案の項目と内容)	第7回の授業内容を復習しておく。		

	回数	授業計画	事前	前・事後学修			
)	第9回	保育指導案の作成①・・・課題1(降園時)	附属幼稚園体験学習の記録に目を通してお く。				
	第10回	保育指導案の作成②・・・課題1(降園時)	指導細案を書いて予習する。				
	第11回	保育指導案の作成③・・・課題2(活動時)	参考書や文献を使用し活動内容を考えておく。				
	第12回	保育指導案の作成④・・・課題2(活動時)	指導細案を書いて予習する。				
	第13回	保育指導案の作成⑤・・・課題3(日案)	参考書や文献を使用し活動内容を考えておく。				
	第14回	保育指導案の作成⑥・・・課題3(日案)	指導細案を書いて予習する。				
	第15回	保育指導案作成における留意事項について(添削結果に基づいて)	課題1から3までを見直し、書き方の再確認をしておく。				
			事前・事後 学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回			

教科書 [書名/著者 名/出版社]	毎回授業時にレジュメを配布する。
	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領/文部科学省、厚生労働省、内閣府/ チャイルド本社

受講生への メッセージ 子どもの主体性を尊重し、子どもの心身の発達に適したかかわりを考えて指導計画を作成しましょう。

												評価基準						
		学修		配	評価	方法の	配点	比率	(%)		学修成果の小分類		尺度					
		『成果の大分類	学修成 果の 中分類 [10の カ]	点比率(%)	定期試験	臨財財財	1 7	計算的	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S:100~90%)	レベル4 (A:89~80%)	レベル3 (B:79~70%)	レベル2 (C:69~60%)	レベル1 (F:59%以下)	
	尽	態度・	① 誠実性															
	心	志向	② 倫理観															
		知識	③ 知識	30		3	0			指導案作成の基本事項 を知り、指導案作成に 活用することができる	専門的知識	製作物/保育の基本を押 さえた指導案作成に関す る知識の取得	指導案作成に必要な知 識を十分に習得し、保 育の基本を押さえなが ら指導案作成に活かす ことができる。	指導案作成に必要な知 識を習得し、保育の基 本を押さえながら指導 案作成に活かすことが できる。	指導案作成に必要な知 識を習得し、指導案作 成に活かすことができ る。	指導案作成に必要な知識 をある程度習得している が、指導案作成に活かす ことができる。	識を習得しておらず、	
		技能	④ 技能	30		3	0			指導案作成の基本事項 を活かし、指導案を作 成することができる。	専門的技能	製作物/指導案作成に関 する技能の習得	指導案作成に必要な技 術を十分に習得し、指 導案作成に適切に活か すことができる。	指導案作成に必要な技 術を十分に習得し、指 導案作成に活かすこと ができる	指導案作成に必要な技 術を習得し、指導案作 成に活かすことができ る		指導案作成に必要な技 術を習得しておらず、 指導案が作成できな い。	
観	創造	思考・	⑤ 数量的 スキル															
点	造	判断	⑥ 問題 解決力															
		表	⑦ 言語的 スキル	20		2	0			指導案の文章表現方法 を知り、考えを文章で 表現できる。	文章力	製作物/保育者の援助に ついての、文章表現方法 の理解度	文章表現の知識を十分 に理解し、保育の基本 を踏まえて適切に表現 することができる。	文章表現の知識を十分 に理解し、保育の基本 を踏まえて表現するこ とができる。	文章表現の知識を理解 し、保育の基本を踏ま えて表現することが有 る程度できる。	文章表現の知識を理解しているが、表現が十分にできていない。	文章表現の知識を理解 しておらず、表現でき ない。	
		現	8 コニケョン スキル															
	実	行動・	⑨ 主体性	20		2	0			課題に主体的に取り組 みルールに従って作 成・提出することがで きる。	積極性、責任感	製作物/内容の精密性・ 独自性、提出期限の厳守	課題に自ら積極的に取 り組み、期限前に提出 することができる。	課題に積極的に取り組 み、期限内に提出する ことができる。	課題に自ら取り組み、 期限内に提出すること ができる。	熱心さに欠け、また、期 限を過ぎたが、提出する ことができる。		
	践	応用	協働性															
		合計		100		10	00											